

# 中型トラック用投入

## 小野谷機工が専用交換機

## タイヤ装着作業容易に

【福井】小野谷機工（福井県越前市、三村健一社長、0778・22・2124）は、主力のタイヤ交換機で中型トラック用の専用機を開発した。これまで顧客のタイヤ販売店は、大型トラック・バス用や乗用車用の交換機で代用していた。人手不足を背景に効率の良い、中型トラック向け専用機のニーズが高まっていると判断した。初年度に月産5〜10台を計画する。



開発したのは車両最重型トラック用のタイヤ「LS-175W」。大重量が8割未満の中交換機「ライトスター」6月1日に発売する。

適用可能なホイールのリム径は14・19・5インチ、タイヤ径は最大で875ミリ、中型トラック用タイヤ交換機「LS-175W」

タイヤ幅は同230ミリ。価格は350万円（消費税抜き）。同製品は交換作業時に、タイヤを装着する把持テーブルが前方向に90度倒れる仕様で、重いタイヤを接地したまま楽にテーブルに装着できるようにした。このほか新方式ヘッドで硬いタイヤをレバー

レスで外し、組み付けは2通りから使い分けられる方式。油圧機構も省電力にした。

小野谷機工はトラック・乗用車タイヤ交換機の国内トップメーカーで、中型トラックは主に宅配便などで使われる。10年前から試作機、コンセプトモデルの製作を進めていた。16〜18日に東京・青海の東京ビッグサイト青海展示棟で開かれる自動車整備機器の見本市で披露する。